

子ども伝統文化教室2016～ふれあい囲碁教室～

実績報告書
Vol.4

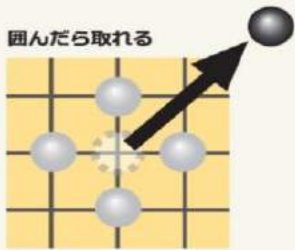
【主催 TOSS 南国港 free-way 子ども伝統文化教室実行委員会】

平成 28 年度文化庁伝統文化親子教室事業

2016 年 9 月 7 日発行



囲碁の基本は、
石を囲んだらとることができる



上の図のように囲んだら、真ん中の黒石をとることができる。ちようど、線と線が交わっているところを道路の交差点だと思って、黒石から出ている道路をすべて行き止まりにすれば良いのです。

ふれあい囲碁ってどんな遊び？

2016年9月3日(土) 一時三十分より、香南市野市町佐古にある母代寺公民館にて、子ども伝統文化教室2016ふれあい囲碁教室を開催いたしました。

かつては、家庭の中で、祖父母、または地域のおじいちゃん、おばあちゃんたちが集い、将棋や囲碁などといった、机上での遊びを楽しみ、それが子から孫へと受けつがれ、家族の団欒が弾んでいた。しかし、昨今、核家族化が進み、三世代がふれあう機会が少なくなり、囲碁や将棋に触れることも、ほとんどなくなっていました。

今回、学校では、教えてもらえない囲碁を、まずは体験していただくために、このような教室を企画しました。初めての企画ということで、児童3名、大人1名、事務局3名、コンパクトな教室でしたが第1回目が無事、実施されたことが、まずは、一安心。今後の取り組み方に向けて、価値ある活動として定着を図ります。

三世代が笑顔で交流！！コミュニティーの再生化に・・・

アンケートより

とても楽しかった 3人
遊び方についてよくわかった 3人

(一言感想)

- ・ピンクの眼鏡のこまつさんともう一回やりたい。
- ・何回も勝って嬉しかった。
- ・意外と最初は、わからなかったけど、最後にわかりました。

(事務局より)

・ふれあい囲碁は、文部科学省のホームページでも紹介されている楽しいゲームです。楽しくゲームをしながら良好な人間関係づくりを実現させる最適なツールとも言えるのではないかと考えます。今後もコツコツ活動に取り組んでいきたいと思ひます。



やがて、一人、二人と説明に参加し



3人になりました。



、個人戦が開始。



大きな囲碁盤で受付後、参加者がうまでの丁寧な個人指導で練習中。

線と線の交わりを、道路の交差点と見立てます。そこに白をおきました。次に黒、白、黒、白、黒とおいていくと、次の黒はどこに置くといいかな？基本は、石を囲んだらとれるよ。

■基本ルール

- 1 はじめに「自分の名前」を言う
- 2 「よろしくおねがいます」
- 3 じゃんけん
- 4 勝った人が「黒石」を持って先におく
- 5 黒白黒白・・・とおいていく
- 6 先に相手の石を囲んで取った人が勝ち
- 7 「ありがとうございました」

あったかい親子の短歌(親子詩)もできました。♡

(子) おもしろい ふれあい囲碁で ぼくえがお

(親) むつかしすぎて あたまいたいよ